

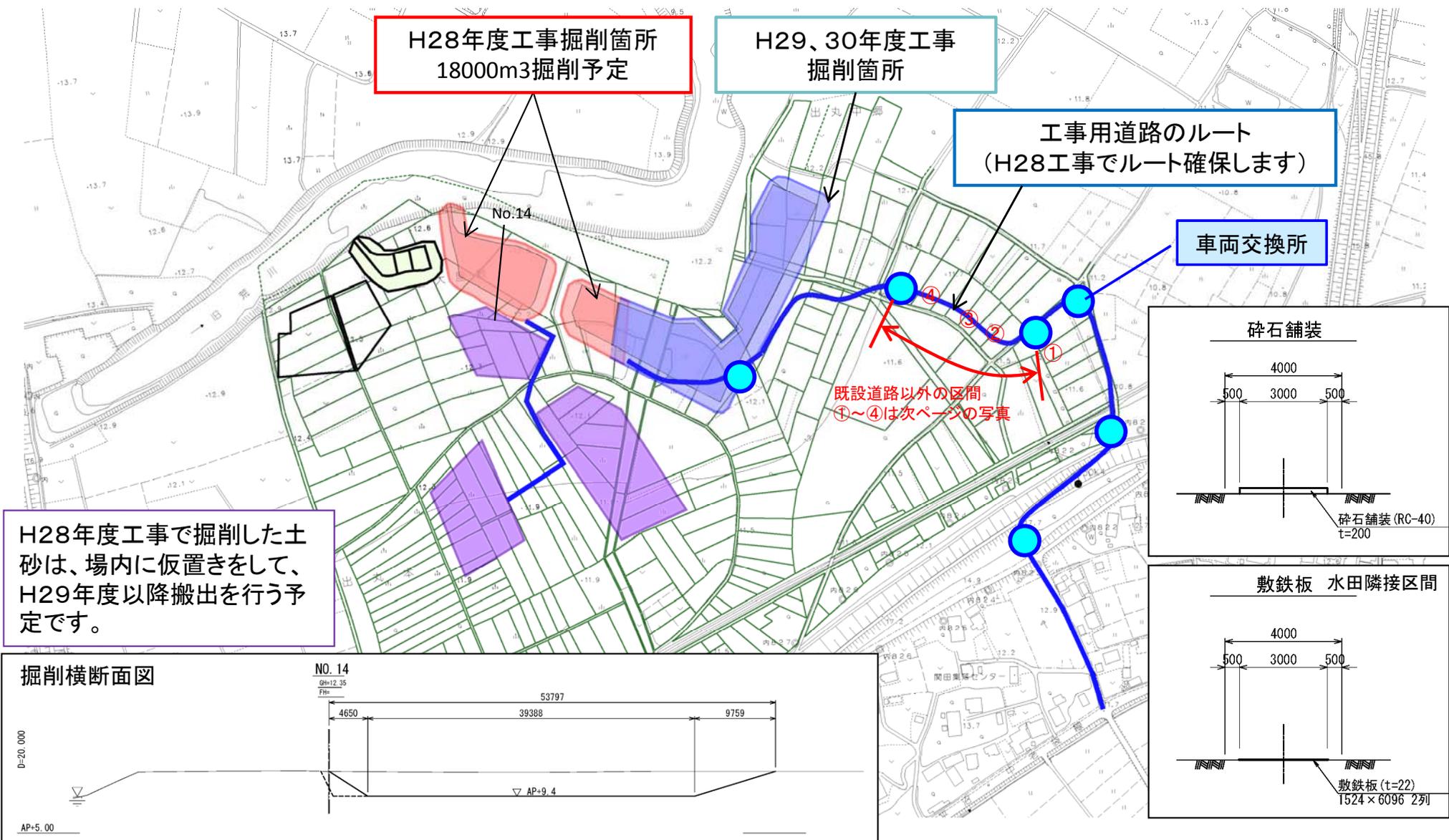
下池工事用道路について

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

太郎右衛門自然再生工事（下池地区）の概要

下池地区の工事期間は、平成28年度から平成30年度の3カ年の予定です。（全掘削量 約4万 m^3 ）
平成28年度実施の工事では、赤色着色部分の土の掘削（18,000 m^3 ）と、掘削した土砂を搬出するダンプトラックが
通行可能な道路（幅員4m）を作ります。
掘削した土砂は紫色着色箇所へ仮置きをして、搬出は平成29年度工事で実施する予定です。



太郎右衛門自然再生工事（下池地区）の概要

○工事用道路として、大木の伐採を避けるルートとして、既設道路以外の区間を設定しました。

①既設道路からの分岐付近



②途中の様子



③途中の様子



④既設道路との合流付近（③の反対側から望む）



ゴマギ等の確認状況（平成28年9月調査）

- 下池の工事用道路画沿いの確認された重要種はゴマギのみでした。
- ゴマギについては、工事直前に現地確認を行い、ルートへの微修正、移植等について検討が必要と考えられます。

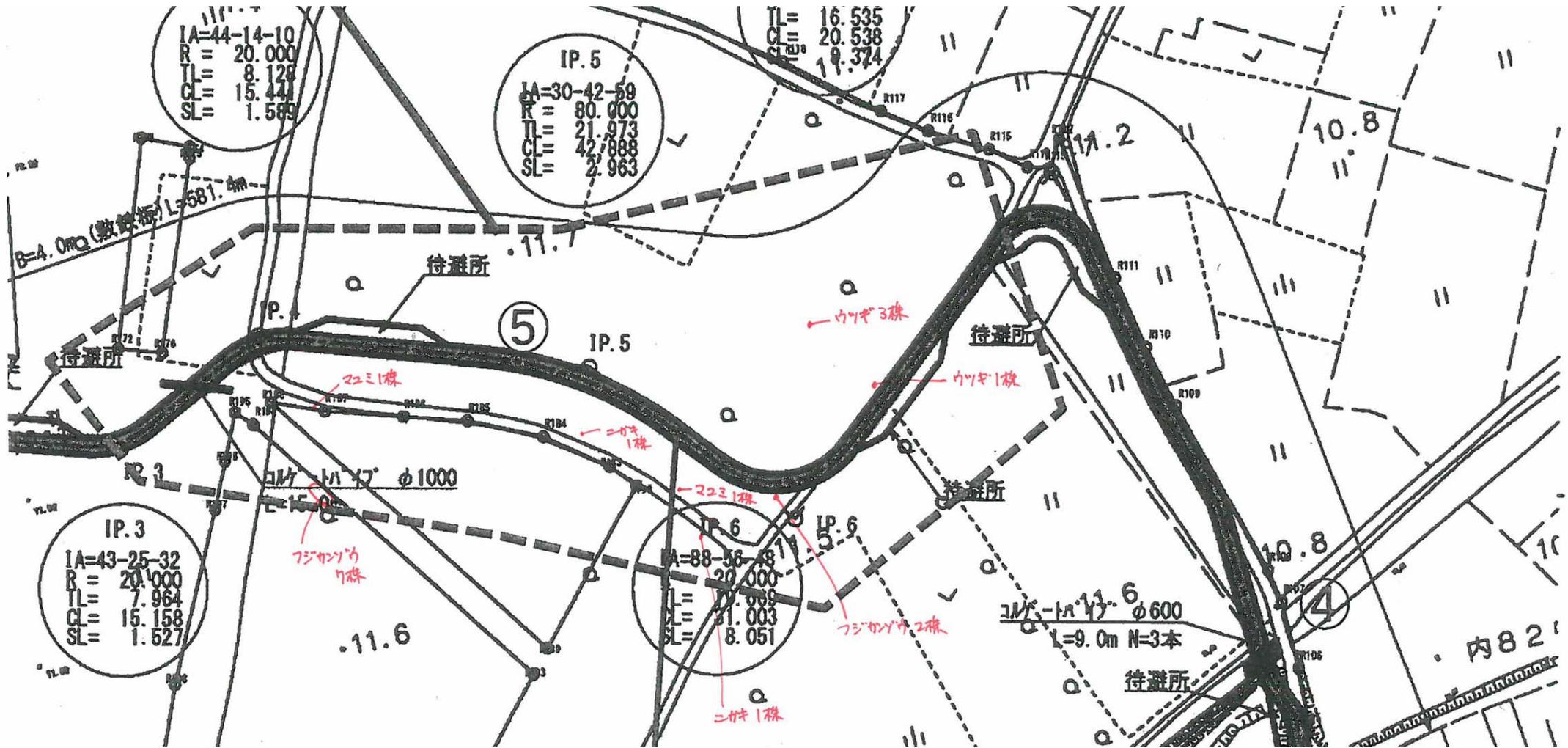
ゴマギの分布

非公開

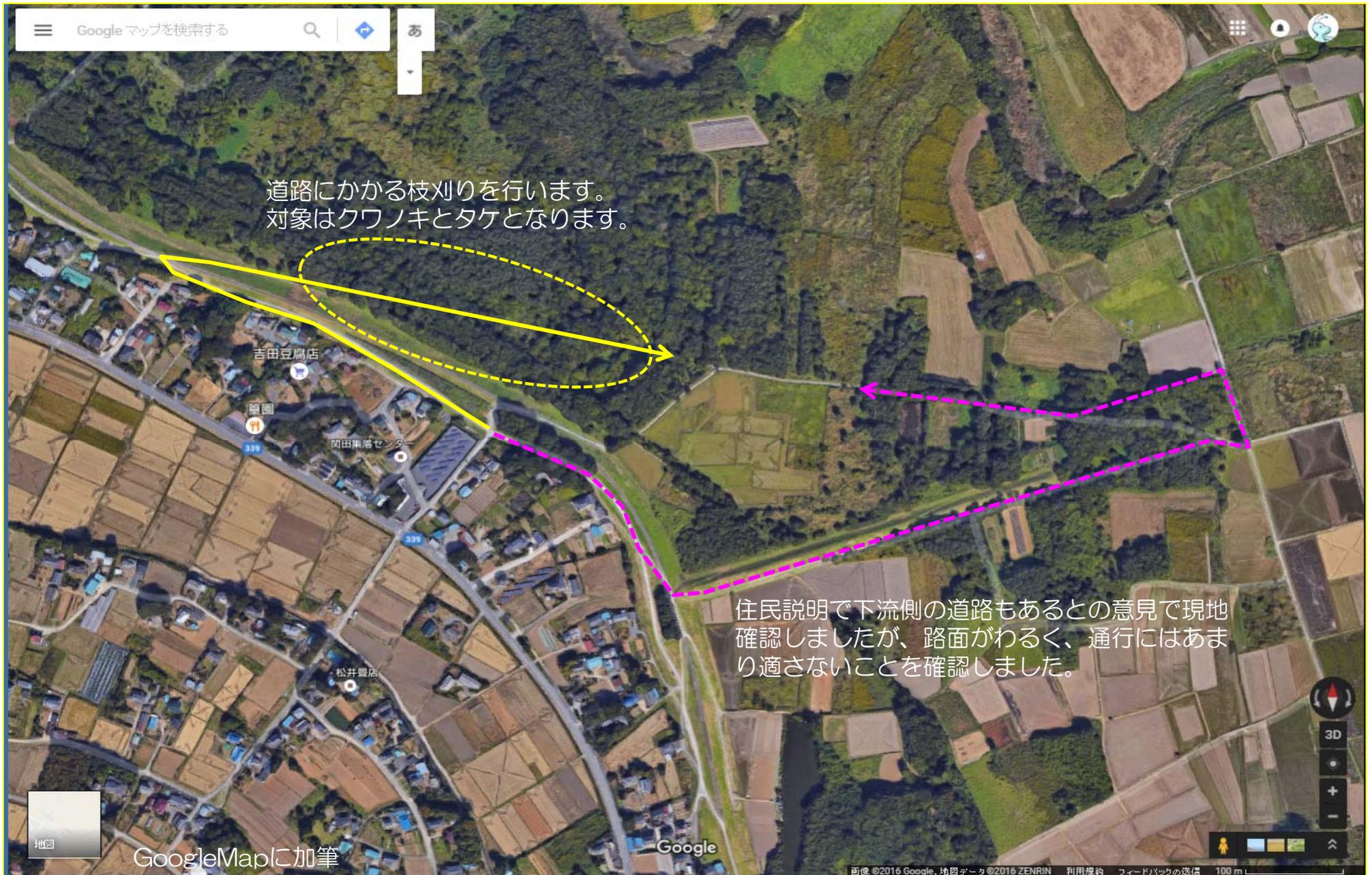
ゴマギ等の確認状況（平成28年9月調査）

○ゴマギ以外にニガキ、マユミ、フジカンゾウについても位置を落としました。イボタノキは全体的にあるので、位置を落としておりません。

ゴマギ以外の分布



工事中の迂回路



工事中の迂回路の枝刈り候補

